

佐賀と秋田いま再び

まず、佐賀の皆さんに遠く秋田からお礼を申し上げたい。戊辰戦争(1868年)の際には佐賀鍋島藩から救援隊を派遣され、秋田城下が火の海となることを防いでいただいた。

援軍14藩の中で最も多い54名の戦死者を出し、この尊い犠牲者は葉隠墓苑(秋田市新屋日吉町)に手厚く弔われている。鳥海石の佐賀藩士慰霊碑には、佐賀藩士の心得「葉隠四誓願」と戦没藩士の名が刻まれている。鍋島家の家紋(杏葉紋)にちなんだ杏(あんず)の木も植わっている。(中略)

昨年2月に亡くなった佐嘉神社の草場昭司さんは、東海林太郎直立不動像建立の呼びかけ人の一人で多額の寄付をいただいた。草場さんによると、戦後間もない昭和22年に東海林太郎は武雄で4回公演した。最初の公演が当時の旧制武雄中だった。開催の理由が野球部のグローブやバットを買う資金にしたかったと聞いた太郎は、収益金を武雄中野球部に寄付したという。ちなみに、秋田に派遣された佐賀藩士の主力は武雄からの援軍だった。このご遺族の末裔からも銅像建立の寄付をいただいた。

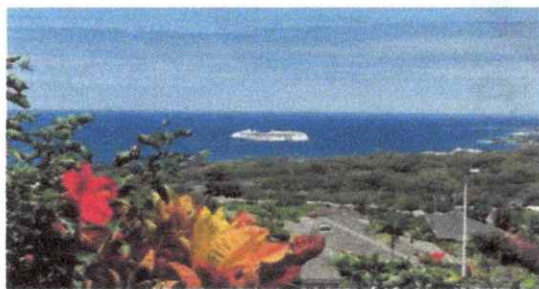
もう一つ、現在の佐賀県知事の山口祥義さんは、自治省に入省して最初の赴任地が秋田県庁だった。山口さんとは、東京六大学秋田野球リーグ戦で一緒に野球を楽しんだ思い出もある。佐賀と秋田の深い縁を感じる。(秋田戊辰の役戦没佐賀藩士慰霊秋田委員会会長、東海林太郎直立不動像建立委員会理事長)、尚、草場宮司の1年祭が、2021年2月5日、佐嘉神社で佐賀県内の関係者によって、営まれた。

佐賀新聞2020年12月24日付け、私の主張から、抜粋 (佐々木三知夫(秋田市))

トロントとハワイから

日本の寒波はこちらでもニュースで見えています。トロントでは、11月頃から雪が降っていますが、今の秋田ほどの大雪はなく、年末年始も積雪はありませんでした。

1月1日、自宅の近くのオンタリオ湖から昇る初日の出を撮影してきましたのでお送りします。今年は感染が収束し、福岡秋田県人会の定例会が再開できますことを祈念しております。(斎藤健史)



今年の秋田の積雪量は凄いうで、親戚の方達も大変のようです。コロナ禍はおさまるところか新変種も出てまたのパンデミック拡大、今年も忍耐の年になりそうですね。

そんな中、福岡在住の田中カ子さんが正月に118歳の誕生日を迎えられ世界最長寿者のギネス認定のニュースに感激でした。健康寿命達成で大いに元気付けられます。

私もこちらからの写真を添付します。我が家の1Fと2Fのラナイから眺めるコナ湾ですが、昨年2020年には毎週クルージングが寄港。これもコロナ禍で4月頃から全く中止。日没には太平洋の向こうの日本を思って眺めています。今春のコナ湾は静か、12月末に2018年来のキラウエア火山の噴火でVogがコナまで飛んできて水平線がはっきりしていませんでしたが、最近は少しおさまってきました。寒い日々が続きますがどうぞご自愛くださいませ。(大坪洋子)